

# 医薬品特許プールと独禁法

## —最近のコロナワクチン特許問題に関連して—



元大阪大学大学院経済学研究科講師  
西口 博之

### 目次

- I. はじめに
- II. 医薬品特許プール
  - 1. パテントプール
  - 2. パテントプールの成立と現状
- III. 特許の共有とその制約
  - 1. 特許権の共有形態
  - 2. 特許の共有と制限
- IV. 特許権の行使と独禁法
  - 1. 特許権と独禁法違反
  - 2. パテントプールとパチスロ事件
- V. コロナワクチンの開発支援とパテントプール
- VI. おわりに

---

### I. はじめに

8月11日付け日本経済新聞記事によれば、新型コロナウイルスの世界の累計感染者が2000万人を超えた。そのうち米国・ブラジル・インドの3カ国で世界の感染者の半分を占めると言う。これら3国は前回エイズ治療薬を巡る治療薬騒ぎの際は、米国はもとよりインド・ブラジルも後発品中心ながらエイズ治療薬の生産国側であった。

然し、今回のコロナ治療薬騒ぎにおいては、生産能力のない国への協力を前提とする医療特許プール（MPP）等が議論されている。